

7月上旬に、「大阪府公立高等学校等アドミッションポリシー（求める生徒像）並びに学力検査問題の種類並びに学力検査の成績及び調査書の評定にかける倍率のタイプ」が発表されました。各教室に置いてもらいます。各担任の先生も持っておられます。大阪府教育委員会のホームページからダウンロードもできます。

学力検査と調査書の割合ー公立高校入学者選抜ー

ここでは3月の一般入学者選抜の例（全日制の課程）を見ていきましょう。

学力検査（入試）は5教科（国、社、数、理、英）で各90点の合計450点です。

調査書は9教科（国、社、数、理、英、音楽、美術、保体、技家）の評定（5段階）をそれぞれ10倍して各教科50点×9の合計450点です。

そして学力検査と調査書の総合点の900点満点で順位を決めて合否を決めます。

総合点を算出するにあたって、学力検査の成績及び調査書の評定にかける倍率は、次の表のとおり5つのタイプがあります。

倍率の タイプ	学力検査の成績 にかける倍率	調査書の評定に かける倍率	参 考		
			学力検査の満点	調査書の満点	総合点
I	1.4倍	0.6倍	630点	270点	900点
II	1.2倍	0.8倍	540点	360点	
III	1.0倍	1.0倍	450点	450点	
IV	0.8倍	1.2倍	360点	540点	
V	0.6倍	1.4倍	270点	630点	

進路獲得に向けて、夏休みに入るにあたり、次のことをもう一度確認してください。

①夏休みは5教科（国、社、数、理、英）の1年生からの総復習をやりきりましょう。

②夏休みの宿題をしっかりとやりましょう。調査書の成績にも当然入ります。

例年、「実力テストや定期テストの点数は高いのに、9教科全体の評定の合計点がそれと比べるとかなり低い」という人を見かけます。入試では評定はどの教科も50点満点で換算されます。学力検査のない科目をはじめ、作品、作文や実技の試験を軽視すると大変ですよ。提出しなかったり手を抜くと、あとで厳しい結果が返ってきます。

ですから、この夏休みに出された宿題は7月中には全部やっておくようにしましょう。そして必ず2学期の提出日に出しましょう。そのすべてが成績に入ります。これは最低限必要なことです。

旧第1学区の高校では…

旧第1学区の高校が選択する学力検査の成績と調査書の評定にかける倍率と学力検査問題の種類は次の表の通りです。学力検査問題の国語、数学、英語は、A(基礎的問題)とB(標準的問題)とC(発展的問題)の3種類の中から各高校が選択します。

(社会と理科は共通問題です)

学校名	学科名		倍率の タイプ	学力検査問題の種類		
	普通科	専門学科		国語	数学	英語
東淀川	普通科		Ⅱ	B	B	B
淀川清流		総合学科 [特別入試]	Ⅲ	A	A	A
池田	普通科		I	C	B	C
渋谷	普通科		Ⅱ	B	B	B
豊中	—	文理学科	I	C	C	C
桜塚	普通科		I	B	B	B
豊島	普通科		Ⅱ	B	B	B
刀根山	普通科		I	B	B	B
箕面	普通科	グローバル科	I	B	B	B
春日丘	普通科		I	C	C	C
茨木	—	文理学科	I	C	C	C
茨木西	普通科		Ⅱ	B	B	B
北摂つばさ	普通科		Ⅱ	B	B	B
吹田	普通科		Ⅱ	B	B	B
吹田東	普通科		Ⅱ	B	B	B
北千里	普通科		Ⅱ	B	B	B
山田	普通科		I	B	B	B
三島	普通科		I	C	C	C
高槻北	普通科		Ⅱ	B	B	B
芥川	普通科		Ⅱ	B	B	B
阿武野	普通科		Ⅱ	B	B	B
大冠	普通科		Ⅱ	B	B	B
摂津	普通科	体育科(特別)	Ⅱ(特別Ⅲ)	B	B	B
島本	普通科		Ⅱ	B	A	A
北野	—	文理学科	I	C	C	C
柴島	—	総合学科	Ⅲ	B	B	B

アドミッションポリシー（求める生徒像）とは？

★特別入試(2月)で実技試験をする高校と一般入試(3月)の高校…

総合点の高い人から募集人員の90%に相当する人がまず合格となります。そのうえで、ボーダーゾーン（募集人員の90%から110%）に入った人は自己申告書と調査書の「活動／行動の記録」の記載内容が、その高校のアドミッションポリシー（求める生徒像）にきわめて合致する人から優先的に合格となります。

★特別入試(2月)で面接を実施する高校…

（淀川清流、成城、西成、長吉、箕面東、布施北、和泉総合、岬、大阪わかば〔勝山・桃谷統合新校〕、大阪市立中央）

学力検査の成績がある基準に達した人から面接と自己申告書と調査書の「活動／行動の記録」を資料として、アドミッションポリシーに最も適合する人から順に、募集人員の50%を上限として合格がまず決定します。

※公立高校の入試はすべて自己申告書を提出します。志望する高校のアドミッションポリシー（求める生徒像）を理解したうえで書く必要があります。

アドミッションポリシーの例

新東淀中学校の近隣の高校の例を3つ上げます。それ以外は教室に置いているアドミッションポリシーを見てください。（3校とも昨年と文面が変更されています）

淀川清流高校

本校は、きめ細かい指導で生徒に寄り添い、生徒の自主性を大切にするとともに、思いやりの心や人権尊重の精神等、豊かな人間性を育む教育を実践します。また、ユネスコスクールとしての活動や2年次からの各系列の専門科目等で、生徒の自己実現を支援します。本校の特色を理解し、本校志望の意志が強く、自分の可能性を伸ばそうと努力する生徒を求めます。

- 1) 基礎的な学習から学び直し、進路をきりひらく力を身につけたい生徒
- 2) 部活動や生徒会活動、学校行事などに積極的に取り組みたい生徒
- 3) 国際交流やボランティア活動に取り組み、夢に向かってチャレンジしたい生徒
- 4) 他人に対して思いやりの心を持って接することができる生徒
- 5) 時間やきまりを守り、けじめをつけて高校生活をおくりたい生徒

柴島高校

本校は、一人ひとりを大切にする教育を創立以来の伝統とする学校です。社会で主体的に生きていくための学力を育てる「コアカリキュラム授業群（2020年からの大学入試改革にも対応）」、自分だけの時間割を作成するなかで自己決定力を育てる「総合学科システム」、そして一人ひとりが自分らしさを持って生きていくことを可能にする「多様性尊重の取組」が本校の特色であり、常に変化する今日の社会のなかで「他者と協働しながら『未来を変える力』」を育むことを目標にしています。

- 1) 柴島高校総合学科で、自分が身に付けるべき力を考え、伸ばしたいと考えている生徒
- 2) 互いの違いを尊重していきたいと考えている生徒
- 3) 障がいについて考えていて、「ともに生きたい」という意欲がある生徒
(本校は、知的障がい生徒自立支援コースを設置しています。)

吹田高校

本校は、創立 70 周年をむかえる伝統校です。「自己を理解し、他者を認め、社会の中で望ましい人間関係を構築する力」「確かな知識や技能をもとにして、自ら考え、判断・表現し、主体的に学び続ける力」「心身ともに健康であり続ける力」を習得するための多様な取組を通して「人間力」を育成してきました。特色ある取組として、放課後講習を含む系統的学習指導を通じて難関大学合格をめざす「進学クラス」を設置しています。本校の教育活動を理解し、学校生活に意欲的に取り組み、努力する生徒を求めます。

- 1) 本校志望の意志が強く、入学後は自らの進路実現に向けて、高い目標を持って学力向上をめざし、学習活動に対して真面目に努力を続ける生徒
- 2) 学校の諸活動（学級活動、学校行事等）や部活動に積極的に参加し、仲間とともに自らを成長させようとする生徒
- 3) 規則正しい生活ができ、ルールをしっかり守り、高校生活を前向きに送ろうとする意志をもった生徒

